ＮＰＯ重慶大爆撃を語り継ぐ会　第６回学習講座

12月13日（日）

2時～5時（1時50分開場）

場所：明治大学 駿河台キャンパス
グローバルフロント1階 グローバルホール

東京都千代田区神田駿河台 1-1 / TEL 03-3296-3452
■ JR 中央線・総武線、丸ノ内線／御茶ノ水駅 徒歩 3 分
■千代田線／新御茶ノ水駅　徒歩 5 分
■三田線・新宿線、半蔵門線／神保町駅 徒歩 5 分

講演

中国における日本軍の加害の歴史を追う

～平頂山事件などを例に～

講師　井上　久士さん
（駿河台大学名誉教授）

1950 年東京生まれ。一橋大学大学院修了、駿河台大学名誉教授、2019 年から日中友好協会会長。専門は、抗日戦争時期の中国の政治と社会を中心とする中国近現代史。主な著書は、『平頂山事件を考える』（新日本出版社、2022 年）、『やさしい中国近現代史』（勉誠社、2025 年）など。

高市政権はかつての戦争を反省しないだけでなく、現在の中国を脅威であると決めつけ軍備増強に邁進しています。私たちは日本の中国侵略戦争・中国の対日抗戦の実態を改めて正確に知る必要性が増しています。典型的一例として平頂山事件から日本軍加害の実態をみてみましょう。

現在の遼寧省撫順で1932年9月に起きた平頂山事件とは一体何だったのか、事件の起きた撫順とはどのようなところでなぜ虐殺が起こされたのか、その後どのように対応されたのかを考えてみたいと思います。

沖縄からの発言

具志堅正己 さん
（「南京・沖縄をむすぶ会」共同代表）
『改訂版　台湾屋（ヤー）の人々』
（2026 年 5 月）

コメンテーター

こうけつ　あつし
纐纈　厚 さん
（山口大学名誉教授）
『台湾有事は存立危機事態か』
（緑風出版、2026 年）

2026.10.6

主催　NPO法人 都市無差別爆撃の原型・重慶大爆撃を語り継ぐ会
代表 纐纈厚（山口大学名誉教授）、前田哲男（軍事ジャーナリスト）、
粟遠奎（重慶爆撃犠牲者遺族）、馬蘭（成都爆撃犠牲者遺族）、雷時仁（楽山爆撃犠牲者遺族）
共催　明治大学国際武器移転史研究所
［連絡先］〒 105-0003 東京都港区西新橋 1-21-5　一瀬法律事務所　TEL03-3501-5558, FAX03-3501-5565
E-mail:info@ichinoselaw.com　Web ｻｲﾄ http://www.anti-bombing.net ブログ http://blog.goo.ne.jp/dublin-ki
［送金先］▼郵便振替口座　口座番号： 00190-5-728232　口座名： NPO 法人重慶大爆撃を語り継ぐ会